

EU・英国編

【1】 エコデザイン規則 (ESPR) 案—6月の公布に先立ち、欧州委員会が今後のスケジュールなどを発表 **全 10 ページ サンプルのためリンクは消してあります**

注) 「エコデザイン指令 2009/125/EC」の枠組みで制定・改正される法律と、新しい「持続可能な製品のためのエコデザイン規則 (ESPR) 案」とを分けて報告しています。別項「EU・英国編 エコデザイン指令 (ErP 指令) & エネルギーラベル規則 —ERP 指令から ESPR への移行ルールが確定 — 製品系」もあわせてご参照下さい。

法律/政策の名称	持続可能な製品のためのエコデザイン要求事項を設定するための枠組みを確立し、指令 2009/125/EC を廃止する、欧州議会および理事会規則 (ESPR) 案 (COM/2022/142)
現地語名称	Proposal for a REGULATION OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL establishing a framework for setting ecodesign requirements for sustainable products and repealing Directive 2009/125/EC (COM/2022/142)
公布/施行日等	法案公表日：2022年5月17日 公布から20日目に施行される
カバー期間	2023年12月~2024年6月

このテーマの基礎知識
を簡潔に説明

バックグラウンド情報

2022年3月に欧州委員会が発表した「持続可能な製品のためのエコデザイン規則 (ESPR) 案」([COM/2022/142 final](#)) は、現行のエコデザイン指令 2009/125/EC (以下、「現行指令」) に取って代わる法律である。本法は 2024 年 6 月中に欧州連合 (EU) 官報で公布される見通しとなっており、いよいよ実施に向けて次なるステージに進む。製造者などの経済事業者には直接影響を与えるのは数年先のことだが、関係企業においては、コンプライアンス対策の一環として早い段階で同法を理解しておくことが望ましい。本稿では、まず「バックグラウンド情報」であらためて ESPR の全体像を説明した上で、「最近の主な動向」で、欧州委員会が 2024 年 5 月 22 日発表した最新のスケジュールに照らしながら、今後のステップのポイントを解説する。

(1) ESPR は枠組み法

はじめに ESPR の「法律としての基本的な機能」を明確にしておく。ESPR は、図 1 に

EnviX 海外環境法規制 トレンドレポート

示すとおり、新たなエコデザイン規制の枠組みを定める法
要求事項は、欧州委員会が ESPR 施行後に別途制定する
れる。サンプルのため省略

図を用いて視覚的に
分かりやすく



図 1：ESPR の基本的な機能

(出所：欧州委員会 2024 年 5 月 22 日 ESPR ウェビナー)

(2) 作業計画

エコデザイン要求事項を設定する対象としてどの製品グループを優先するかについては、・・・

(3) ESPR の特徴 (指令 2009/125/EC との相違点を中心に)

- 適用範囲を大幅に拡大：指令がエネルギー関連製品 (ErP) のみを対象としているのに対し、ESPR は、EU で上市されるほぼすべての商品 (食品、飼料、医薬品、生体を除く) を対象とする。
- エコデザイン要求事項の対象となる製品側面も拡大：指令がエネルギー効率に重・・・
サンプルのため省略

最近の主な動向

■ 審議が一気に進展、6 月中に公布の見通し

表 1 は、欧州委員会の法案提出から現在までの審議の経過をまとめたものである。ご覧のとおり、本報告期間中に審議が一気に進展し、ESPR は 6 月中に欧州連合 (EU) 官報に掲載される予定である。

EnviX 海外環境法規制 トレンドレポート

表 1 : ESPR の審議の経緯

年月	アクション
2022年3月30日	欧州委員会が ESPR 案 を公表。
2023年5月22日	
2023年7月12日	
2023年12月4日	
2024年4月23日	
2024年5月28日	

(出所 : EnviX 作成)

■ 最終法文に基づく ESPR の解説

2024年6月の公布に先立ち、欧州委員会は2024年5月22日、ESPRに関するウェビナーを開催した。同委員会によると、本ウェビナーの聴講登録者数は約4500名にのぼった。本稿では、このウェビナーで使用された「ESPR 暫定タイムラインおよびマイルストーン」のスライド(図2)に基づいて、EnviXが抽出した5つのポイントを解説する。

サンプルのため割愛

図 2 : ESPR の暫定タイムラインおよびマ

(出所 : 欧州委員会)

重要なポイントを解説

ポイント① : ESPR の発効と指令 2009/125/EC の廃止

- 指令 2009/125/EC は、原則として(一部除外あり)、ESPR の発効をもって廃止される。
- ただし、指令

ポイント② : 現行の作業計画から ESPR 作業計画への移行ルール

現行の「[エコデザインおよびエネルギーラベル作業計画 2022-2024](#)」に基づいて進められている作業は、以下のとおり扱う。

- 移行措置が適用される製品グループ : 以下の 19 の製品グループ…**サンプルのため省略**…

ポイント③ : ESPR 作業計画

- ESPR 作業計画は、…**サンプルのため省略**…

ポイント④ : 売れ残り製品の破棄

売れ残り製品の破棄に関する措置には、…**サンプルのため省略**…

ポイント⑤：デジタル製品パスポート

- 最初に DPP の対象となる製品：…サンプルのため省略…
- スケジュール：…サンプルのため省略…
- DPP 実装に向けて進行中の作業：…サンプルのため省略…

今後の展開とスケジュール

「図 2：ESPR の暫定タイムラインおよびマイルストーン」をご参照

このテーマを見つけて
いる EnviX だから書
ける展望と見解

EnviX 展望と見解

二年以上の歳月が費やされた ESPR の立法プロセスは、まもなくその公布・施行をもって完了し、ESPR はその実施に向けて次なるステージに進む。企業はこれから、…サンプルのため省略…止の適用が拡大される可能性があることにも十分な注意が必要である。

最後になるが、この ESPR も、EU 一般データ保護規則（GDPR）や REACH 規則と…サンプルのため省略…

その他関連動向

■ 持続可能な生産・消費に関連する規制枠組み

EU では、持続可能な生産・消費に関連する新たな規制枠組みとして、ESPR のほかにも以下の立法手続きが進められており、いずれも終盤に入っている（消費者エンパワーメント指令は公布・施行済み）。

(1) 消費者エンパワーメント指令：誤解を招くような環境主張の排除など

「不公正慣行に対する保護強化と、より良い情報提供を通じ、グリーン移行のために消費者の力を高める [指令\(EU\) 2024/825](#)」（いわゆる消費者エンパワーメント指令）は、…サンプルのため省略

(2) 環境主張指令案：「環境に優しい」の証明と伝達の方法を規定

欧州委員会が 2022 年 3 月 22 日に発表した「環境主張指令案 ([COM\(2023\) 166](#))」は、企業が自社 [サンプルのため省略](#)

(3) 修理する権利指令案

欧州委員会が 2022 年 3 月 22 日に発表した「物品の修理を促進する共通ルールに関する指令案… [サンプルのため省略](#)

【2024.06.03 et】